

一般質問



新しい農政の展開に対応出来るのか

早期に新庁舎を建てるべきだ

真崎 寿浩



地域づくりは人づくり

地域づくりの基本は何か

市長 仙北市の将来像の「観光産業を活かした北東北の交流拠点都市」をめざすためには、安全で安心して暮らせる住みよい地域づくりと、住民の意識改革が不可欠である。

質問 特色ある地域づくりに向けての市長の考え方について伺いたい。

市長 まず充実を図るべき地域医療のあり方を明示する必要がありと思うがどうか。

市長

この地域は観光客の安心感からも救急態勢は必要であり、これを解決するには医師の充足を達成して、早期に救急対応出来る病院にすることである。

田沢診療所は週一回の診察のため、必要ある患者を田沢湖病院に搬送する方法も検討していきたい。

質問

特色ある農政の展開を望むものだが十九年度対策はどうなっているのか。

市長

農業は仙北市の基幹産業であったし、またあり続けていると思う。

旧大曲仙北での施策、支援での差があることは認識している。仙北市の農産物に実力をつける必要があり、農業も外の手助けなしで自立して行ける産業になってほしい。

補助支援のあり方としては立ちあがりの部分での助成であるべきで、研修などをして、お金ばかりでなく人の交流を計りながら自立出来る農業を進めていきたい。

質問

地域づくりは人づくりであり教育環境は、その根元である。仙北市の教育をどう進めようとしているのか。

教育長

仙北市の教育を考えたところでは、

り、教育の大きな変化の時代に入ったと認識している。

育児支援、幼保、小、中の連携と高校のあり方を語り合うもので、特に二校ある高校の問題は仙北市だけの問題ではないので県の考え方を考えるような意見を集約して行きたい。

身近な行政とは何か

質問

職員のやる気を引き出す環境を整える体制づくりを急がなければならない。

旧三町村の職員同士の溝があるのではないかと思う場面が多くある。合併した以上旧町村での考え方を今なお引きずっている事は職員に対する教育の問題ではないのか。

職員同士の風通しが良くなければ身近な行政にはならない。今の分庁舎方式の不便の解消は、新庁舎をあるべき場所に建てるべきで、そのことが住民にプラスであると思うがどうか。

市長

職員の業務の進め方については合併したからと言

われる場面もあるかも知れない。

旧三町村のやり方、考え方を統一化するには多少時間がかかる。

職員のやる気は、日頃のコミュニケーションが大事であり職員研修にも取り組み、能力アップに努めたい。

新庁舎建設の件は、以前から申し上げて来た。合併当時はかなり後の計画になっていたが、これを前倒しして早期に取り組みたい。今後、三年間の実施計画の中でも新庁舎の調査予算を盛り込んでいく。



仙北市農業の方向を見い出せるか、農業対策